

Health Impact Assessment

(健康インパクト評価, HIA)の可能性と課題 —健康格差是正に向けて (仮題)

ヨーロッパなどの国々においては「健康格差を 25%抑制する」などの数値目標を掲げて HIA が行われ、政策導入後も、その影響をモニタリングすることがされています。HIA とは、公共政策が国民の健康に及ぼすインパクトをアセスメントする取り組みです。WHO の「健康の社会的決定要因 (social determinants of health, SDH)」委員会も、健康格差を是正するために、HIA に取り組むことを勧告しています。HIA に取り組んでいる Liverpool 大学の研究者 Andy Pennington 先生をお招きして、その可能性と課題を探ります。

プログラム

13:30 -	開会
13:30 - 14:00	健康インパクト評価の可能性と課題—健康格差是正に向けて (仮題) 近藤克則 (日本福祉大学 健康社会研究センター長)
14:00 - 14:50	健康インパクト評価の可能性と課題—イギリスにおける経験を踏まえて (仮題) Andy Pennington 先生 (英国・Liverpool 大学) ※日本語の解説あり
14:50 - 15:00	休憩
15:00 - 16:00	質疑・討論 指定発言者: 尾島俊之先生 (浜松医科大学 健康社会医学講座教授)
16:00 -	懇親会 (会費制) を予定しています

日時: 2010年 1月30日 (土) 13:00 ~ 16:00

会場: 日本福祉大学名古屋キャンパス 北館7階 地域ケア研究推進センター 7B 会議室

JR 鶴舞駅 (公園口) より徒歩3分, 地下鉄鶴舞駅2番出口より徒歩4分

URL: <http://cws.umin.jp/inquiry/index.html>

主催: 日本福祉大学健康社会研究センター

共催: 名古屋大学エコトピア科学研究所・社会政策学会保健医療福祉部会・HIA (Health Impact Assessment) 研究会